

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス町田駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	1,利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか	85.7%	14.3%	0.0%	トレーニングの開始時間まで保護者と指導員が子どもの見守りをして入室をしているので、子どもの安全が保たれている。パーティションの移動等でスペースの工夫をしている。活動の内容によってスペースを検討している。	現状ではスペースを拡げることは難しいが、運動のために広いスペースが必要と感じることはあるため、今後移転等ある場合には考慮したい。
	②	2,利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	85.7%	14.3%	0.0%	ギリギリの人数で回しているため、欠員が出ると補いが大変である。利用者一人に対し、二人体制で対応できるようにしている。	他事業所からのヘルプ等で対処していく。余力ある人員体制に努める。
	③	3,生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所等の設備は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	71.4%	0.0%	28.6%	入室したら段差はなく、教室の扉は必ず鍵をしめている。活動に集中しやすい環境にしている。	随時改善点はないかを考慮して、継続して対応していく。
	④	4,生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっ	85.7%	0.0%	14.3%	使った道具、玩具は全て消毒をしている。清掃担当をきめている	引き続き、清掃、消毒を徹底していく。
	⑤	5,必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	57.1%	14.3%	28.6%	クールダウンの場所を設け、子どもに配慮をしている。必要なものしか置かない	児童発達の療育中には特に必要性はないが、放デイ利用児がいない時には、広いトレーニングルームを使うことが出来る。
業務改善	⑥	6,業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	85.7%	0.0%	14.3%	タレがある。ミーティングを利用して職員全員で共有している。	引き続き、タレ、全体会議、常勤会議で共有し、全員が参画するように努める。
	⑦	7,保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者の意向や意見を回覧して共有し、必要な対策についての意見を出しあっている。	
	⑧	8,職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85.7%	0.0%	14.3%	タレで共有。ミーティングを利用して職員全員で共有している。	今後もタレや会議で細やかな共有を継続していく。
	⑨	9,第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	42.9%	42.9%	14.3%		
	⑩	10,職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	57.1%	14.3%	28.6%	職場内の研修があり、フィードバックを受ける機会がある。	個別療育の内容については、必要に応じて管理者からの指導があるが、それ以外の知識向上のための研修等については、外部講師に依頼したり、本部の研修を受けることのできる体制を作っていくたい。
	⑪	11,適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	管理者に確認をとる職員間で課題を共有し、日々のプログラムに反映させている。	
	⑫	12,個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	重要課題の評価と保護者によるアセスメントシートの提出、それらを元に計画書を作成している。	
	⑬	13,児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	タレで職員全体で共有して、さまざまな観点から検討している。	
	⑭	14,児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	計画にそったプログラムを計画している。	

適切な支援の提供	⑮	15,こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑯	16,児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑰	17,活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	担当者会議を開催し、原案を職員感で共有している。	
	⑱	18,活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	85.7%	0.0%	14.3%	繰り返しの必要な課題は、担当者の工夫が必要となるため、様々なアイデアを出していく必要がある。課題の狙いはずらさないようにしつつ、飽きないように変化を持たせている。	固定化していないことを児発管が確認して、より良いプログラム作成に心がける。
	⑲	19,こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉑	20,支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	朝礼での共有。 朝礼では、その日の全体の流れや、個別での注意点や必要な対応を共有している。	
	㉒	21,支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	夕礼の時間をきめている。 夕礼で実施している。	
	㉓	22,日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者からの聞き取りも含め、支援記録にしている。	
	㉔	23,定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	85.7%	0.0%	14.3%	半年に一度実施している。	モニタリングを保護者と必ず行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉕	24,障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	71.4%	14.3%	14.3%	相談支援事業所がないため、難しい。 基本的には全員が把握しているが、担当者が担うようにしている。	相談支援事業所に入っている利用者については、担当者が出席するように配慮する。
	㉖	25,地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71.4%	0.0%	28.6%	保護者からの依頼に応じて実施している。	依頼に応じる形で行っているが、連携について、保護者によっては周知されていない場合もあるため、FB等でお伝えしていくようにしていきたい。
	㉗	26,併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	57.1%	14.3%	28.6%	保護者や園から連携の要望があった際に、訪問や電話での連絡、紙面でのやり取りなどで連携を図っている。 他の場面でも同様に取り組むことができるように支援している。 また、保護者からの依頼に応じて情報共有を行っている。	引き続き必要に応じて継続していく。
	㉘	27,就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	85.7%	0.0%	14.3%	就学支援シートの依頼に応じて行っている。	引き続き就学支援シートを利用する。
	㉙	28,地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	28.6%	28.6%	42.9%	今まであまり機会はないが、必要に応じて行っていく	こちらから連携を図らないと機会がないため、必要に応じて機会を持てるように心がけている。
	㉚	29,保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	28.6%	57.1%	14.3%		現時点では、必要性が認められないが、必要に応じて検討していく。

保護者への説明責任等	⑩	30,日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	0.0%	療育後のフィードバックで実施している。			
	⑪	31,家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	28.6%	57.1%	14.3%	過去には開催していたため、今後検討したい。			F Bの時間に家族の対応力の向上については助言を行っているが、外部講師等による開催も検討していきたい。
	⑫	32,運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%				
	⑬	33,児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%	モニタリングで保護者と共有をはかっている。			
	⑭	34,「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%	更新時は、計画書の内容についての説明をしている。			
	⑮	35,定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個別後にFBの時間がある。フィードバック内で行っている。十分に時間がとれなかった時には、個別の面談の希望がある場合に対応している。			
	⑯	36,父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	28.6%	57.1%	14.3%	今後検討したい。定期的に開催していない。			グループ療育の場が保護者の交流の場になっていると思われるが、ご希望が多いようなら今後開催も検討したい。
	⑰	37,こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	面談をしている。すぐに面談日程を調整するようにしている。			
	⑱	38,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ブログなどで発信している。			
	⑲	39,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%				
非常時等の対応	⑳	40,障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%				
	㉑	41,事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	28.6%	42.9%	28.6%				住宅地ではなく繁華街にあるため、必要性は今のところ感じられないが、必要に応じて検討していく。
	㉒	42,事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ブログで公表するようにしている。年に複数回実施している。			マニュアル等を入口に掲示する等して対応する。また、訓練を実施した際はブログ等で公表するように努める。
	㉓	43,業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	年に複数回実施している。			
	㉔	44,事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	アセスメントシートに記入欄をもうけ、半年に一度確認している。			
	㉕	45,食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	71.4%	0.0%	28.6%				児童発達支援では食べ物を扱うことがない。今後扱う場合は、対応する。
	㉖	46,安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された	100.0%	0.0%	0.0%				
	㉗	47,こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	85.7%	0.0%	14.3%	防災訓練時に、保護者と共有している。			安全計画を入口に掲示している。

	④⑧	48,ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ミーティングを活用して対策を検討し、対応を決定している。	
	④⑨	49,虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑤⑩	50,どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		